

佳作 高学年の部

## ばあば ありがとう

鹿児島県 鹿児島市立原良小学校五年 蒲牟田 佳穂

「まあまあ、よく来てくれたねえ。」

と小さくなつてしまつたばあばが、笑顔でむかえてくれた。

お盆に、ひいおばあちゃんの家へ遊びに行った。

いつもなら、お茶を飲みながら楽しくお話するけれど、今日のばあばは、ふとんに横になつていた。でも、私と弟が、ばあばの近くに行くくと、ばあばが目を覚まし、

「まあ大きくなつて、何年生ね?」

と聞いて、「二年生と五年生だと答えると、

「んまあ、そうね。あんたたちはまだ若いんだから元気でがんばんなさいよ。」

と言つて手をぎゅつとにぎつてくれた。ばあばの「がんばつてね」という力強く、やさしい言葉と、温かくて心がホッとする手から、たくさんのおやさしさを感じた。ばあばは自分の体がつらいはずなのに、私のことを応援してくれただ。ありがとう。ありがとう。

私たちが帰る時ばあばはいつも、車が見えなくなるまで見送つてくれる。でも今日は外に出ることができないから、ふとんの上で「また来てよ。遊びにおいで、待ってるからね。元気でがんばんなさいよ。」

と手をふりながら言つてくれた。私は笑顔で「また遊びに来るね。ばあば長生きしてね。」と言い手をふつた。

ばあばは、七月で九十さいになった。私にとつてたつた二人のひいおばあちゃん。大好きで、とっても大切なばあば。

ばあばは、ようち園の運動会から、小学校の運動会まで見に来てくれている。

私のために、朝早く来て最後まで、楽しそうに私のがんばる姿を見てくれた。

一年生のとき、ばあばの家へ一人で遊びに行つて、おいしい天ぷらを一人で作つたこともある。ばあばと作つた、天ぷらの味は今でもずっとわすれない。おいしかったなあ。

赤ちゃんの時から、ずっとかわいがつてくれて、ずっと応援してくれた。ばあばがいたから、私は色々なことをがんばれた。ありがとう。ありがとう。

今の私がいるのは、周りのみんながささえてくれたから。そのことに感謝したいと思つている。その中でもいつも元氣ややさしさしてくれるのはばあばだ。だから、そんなばあばに恩返しをしたい。

私が思う一番の恩返しは、できるだけたくさん会いに行くこと、元気でがんばる事だと思ふ。だから、この二つを自分で行動していきたい。

ばあば、いつもやさしくしてくれてありがとう。「元気でがんばつてね」と私に、笑顔をくれてありがとう。私は、元氣に生懸命がんばつているよ。

私のひいおばあちゃんがばあばで良かった。ずっと大好きで大切な、たつた二つの宝物。

ばあば長生きしてね。本当にありがとう。